



学生相談室ニュース vol.7 (2020年11月)

朝晩の冷え込みが次第に強くなり、朝布団から抜け出るのが大変になってきましたね。今年は外に出る機会が減っているかと思いますが、キャンパスも落ち葉が増え秋の深まりを感じます。(C棟からD棟に向かう途中にある、1本のフユザクラの木も花が咲き始めています。大学に来た際には是非見てみてください。)

さて、みなさんは“秋”と言われると何を連想しますか? 「芸術の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」…などさまざまですが、今年はコロナの影響もあるため、「読書の秋」はいかがでしょうか。

とはいえ、普段本を読まない方は何か小説などを薦められても、なかなか食指が動かないかもしれません。そこで、今回はマンガを紹介したいと思います。



(ここは今から倫理です, 雨瀬シオリ, 集英社)

『ここは今から倫理です』、みなさんは知っていますか? 12月に最新5巻が発売、来年1月にはTVドラマ化も決まり、じわじわと人気を集めている作品です。

タイトルにもあるように、マンガのテーマは「倫理」です。舞台は高校、登場人物は倫理の教師の高柳と、その高柳の授業を選択した生徒たち。話毎に十数人いる生徒それぞれにスポットライトが当てられ、高柳との関わりによって、変化や成長が描かれます。ほとんどが1話完結のスタイルをとり、オムニバス形式のようにストーリーは進行しますが、続けて読むと分かる繋がりに“おっ”と思わされることもあり、構成も楽しめます。

作中で高柳は、倫理の授業で教えることとして、「宗教とは何か」「よりよい生き方を考える」「幸せとは何か」「ジェンダーについて」「いのちとは何か」を挙げます。多くの先生が頭を痛める行動を起こす・周りがバカに見える・“普通”に悩む・SNSの評価が気になる・群れるのが苦手…そんな生徒たちが、高柳から何を学び、どう変わっていくのか、ページを繰る手を止められなくなります。

各話の主人公に思いを馳せるのもよし、引用される倫理の教えを自分なりに深く考えるのもよし。出てくる人や言葉が、どこか自分のことのように思えたり、自分の悩みと重なったり…どんな人にも響くところがある作品だと思います。気になった方は是非読んでみてください。

